

# 設計前に製品コストを創り込む原価企画

～ VEで変動費・モジュール設計で設備・間接固定費の適正原価を実現する ～

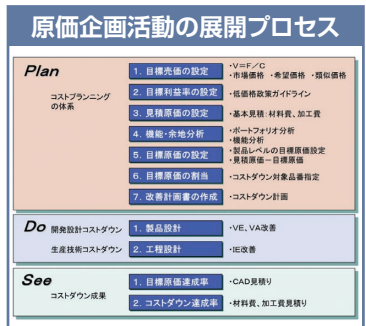
(旧名称：設計前にコストを創り込む原価企画)

開催日時	2026年10月26日(月)～27日(火) 2027年 3月 4日(木)～ 5日(金)	オンライン 東京会場	各回とも2日間 10:00～17:00
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>コスト改革・原価企画の躍進に携わる方</li> <li>コストダウン実現を目指す、開発設計・開発購買・生産技術のマネジャー・スタッフの方など</li> </ul>		
講師	大塚 泰雄 氏 JMA専任講師 株式会社MEマネジメントサービス 常務取締役	参加料(税込) 法人会員：124,300円/1名 会員外：135,300円/1名	<small>※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。</small>

**本セミナーのねらい**

製品の価格、すなわちその背後にある製品原価は、総合商品力の重要な構成要素です。新製品がねらった競争力を発揮するには、コストの70%が決まる、製品企画・開発段階にさかのぼって原価を創り込む「原価企画」活動が必要不可欠です。

その目標原価を創り込むツールには、変動費低減の“VE”、固定費低減の“モジュール設計”があります。本セミナーでは、原価企画・VE・モジュール設計のステップを事例、演習を交えながら学んでいただきます。



**参加者の声**

- VE推進のために共有化しようと思った。
- コストテーブルより源流で使うCAD見積の考え方は良い参考になった。
- 機能分類、整理の仕方を学べてよかった。

**■ プログラム** 2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

- まずは製品コストダウンの可能性を追求する**  
ーコストダウン余地分析で目標原価を決めるー
  - まずは改善対象製品の原価データを収集する
  - 設計改善対象製品の選定方法とは
  - 製品のコストダウン余地分析
- 製品コストを創り込む原価企画の目的と進め方**  
ー事前に原価をシミュレーションするー
  - 原価企画の意義と目的
  - 原価企画の実態と進め方
  - デザインレビューと原価企画
  - 目標売価・目標利益率の設定 練習問題
- CADで行う設計のコストシミュレーション**  
ーCADから直接見積原価を設定するー
  - コストを見積る種類と粗さ
  - 原価企画に強力な武器となるCAD見積
  - コストテーブル作成のステップ
  - コストテーブル事例とCADへの応用 練習問題
- 機能・余地分析から目標原価設定を設定する**  
ー理想原価を踏まえ目標原価を設定するー
  - 製品のあるべき姿を追求する
  - 製品の機能・余地分析
  - 最適目標原価の設定と割当方法
  - コストダウン評価の考え方 練習問題
- 感性機能を取り入れたコストダウン実現の価値工学(VE)とは**  
ー製品機能から最適構造を追求することの重要性を知るー
  - 価値工学 (VE) とは何か
  - ①機能定義：目的機能追求と機能定義  
Step1 目的機能追求 Step2 機能を定義する  
Step3 機能を整理する
  - ②機能評価：機能評価と改善の方向性を決定する  
Step1 目的機能追求 Step2 構造コストを各機能へ配分  
Step3 低減余地から優先順序を決定  
Step4 改善の方向性を決定
  - 感性機能を織り込んだ感性VEの進め方 練習問題
- アイデア無くして製品価値向上は達成できない**  
ー1つの製品にアイデアを1000件出す実践のステップー
  - アイデア発想の目的とポイント
  - アイデア発想効率的6つのステップ
  - 使えるアイデアに育てるには 練習問題
- モジュール化で変わる設備・間接固定費の適正化**  
ーあるべきモジュラーデザインの進め方ー
  - モジュール化の歴史と6つのモジュラー化方式
  - 着眼大局論で進めるモジュラーデザイン
  - モジュラーデザインで会社の何がかわるか
  - 製品モデルの展開と製品ラインアップ表 練習問題
- モジュール化可能性分析により事前に成果を予想する**  
ー事前に目標設定の重要性を知るー
  - 事前に行うモジュラーデザイン可能性分析
  - 製品仕様から可能性を追求する “製品仕様分析”
  - コストから見た最適ラインアップの追求
  - 部品種類数から可能性を追求する “部品機能分析” 練習問題

**[VE改善設計・機能分析ソフト、モジュール化分析ソフト紹介]**

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。